



毎日、100分授業をコース専属の先生が楽しくわかりやすく理解するまで教えている。「中2にもなると毎日の学習の理解度を記録する『振り返りシート』や、生活の中での必要事項や感じたことを常にメモする『自分レポート』の習慣もつき、中1のときは何を書けばよいのかわからなかった生徒も今ではぎっしりと書けるようになりました」(中司先生)

情報社会への参加に必要な能力を育むため、ひとり1台使用可能なコンピュータ教室のほか、すべての教室にもパソコンを完備。気になることがあれば教室のパソコンで調べものができる。3年コース、6年一貫コースとも「報恩・感謝」という建学の精神のもと、恵まれた環境で充実した学園生活を送っている。



自己表現力を育む 学習環境



「人の話をしっかり聞いて、自分の意見を伝えられるようになりました」(Mさん)「自分プロジェクトの人生ゲーム作りでは、将来のさまざまな選択肢やありえない落とし穴を作るなど、楽しみながら自分の将来についても考えました」(Sくん)。昨年1年間を通して目を見張る成長を遂げた中2生たち。

ここに注目!

社会で活躍する 人々と接し 職業観を養いながら 勉強への 動機づけを図る

「6年一貫コース」では“知ることで視野が広がり、学ぶことによって世界が開ける”というコンセプトのもと、ほぼ月1回のペースで「社会人講座」を開催しています。「社会の第一線で活躍されている方々に、仕事の内容や面白さ、その仕事に就くための勉強法などを話してもらっています。昨年は、大阪大学医学部附属病院の副院長をはじめ、建築士、弁護士、漫才師の方からお話を聞くことができました。今後さまざまなジャンルの方に来ていただく予定です」(中司先生)。

難関高校への合格者を 多く輩出する3年コース 『英数発展』『英数』

「もっと個々の力を伸ばしてあげたい」という先生方の熱い指導が難関高校合格という夢をかなえた。今後も生徒たちの希望に沿って、また、時代の変化にも応じてさまざまな指導をしていく。



3年コースでは、難関高校への進学を目指すコース。今春も国公立では大阪教育大学平野2名、大手前10名、四條畷13名、天王寺1名、高津2名、寝屋川3名ほか、私立では慶應義塾1名、立命館系4名、同志社系7名、関西大系12名、清風3名、明星2名、四天王寺3名、大阪女学院2名、桃山学院8名、大阪桐蔭13名、上宮4名などの難関高校に合格を果たした。



中2のチーム学習「未来の家電について」では、どのチームがどの家電を担当するかは当日クジで決められ、売れそうな商品を考えられた。たとえば洗濯機なら、まずその歴史を担当の先生が紹介し、生徒たちはどうすればもっと便利になるかを想像しながら、さまざまなアイデアを出し合った。



人の話を“聴く”ことを土台とし 多面的に物事を考え 自己表現力を身につける



「短時間で一人ひとりの意見を聞いてまとめるのが難しかった」「みんなが奇想天外なアイデアを出してきたのでおもしろかった」と未来の家電について話し合った中2生。

『自分プロジェクト』で 複眼思考や探究心 コミュニケーション能力を磨く

「知識と学力は夢実現のための土台になるけれど、それだけでは社会で活躍できない。しかし、1年間の自分プロジェクトで、君たちは人前で恥ずかしがらずに話せ、自分を表現できるようになった。自分たちで情報収集し、まとめる力もついているので、今後は情報を分析する力をつけてください」(6年一貫コース主任・河口俊彦先生)



中1の自分プロジェクトでは、先生が朗読するオー・ヘンリーの『賢者の贈り物』を聞いて、時代や背景、登場人物などのキーワードを抜き出していき、終了後に問題用紙が配られ、どれだけ話の要点が聞き取れたかを自己採点。これは集中力を身につける訓練にもなる。「心と耳でしっかり聞いて、人の名前や数字が出てきたら必ず書き留めてください」(畑井出先生)

「ただいま!」と言ったら「お帰りのさい」と返事をし、自分に合うレベルのクイズ番組を選んでくれるテレビ「ロボット型で冷たい水を運んでくれる冷蔵庫」など想像力豊かでユニークな家電をプレゼンした。イラストを見せながら身ぶり手ぶりで、あるいはコントなどを盛り込んで楽しく紹介する。



四條畷学園

昨年度よりスタートした「6年一貫コース」では夢の実現力をつけるため、毎週土曜の3・4限目を「自分プロジェクト」と題し、チーム学習や社会人講座、社会見学、小論文講座などを行い、社会における基礎力を育てています。

中2では「伝える力」がテーマで、今回のチーム学習では、生徒たちは4~5班に分かれ、未来の家電はどこまで進化するのかを、1時間足らずの間に話し合い、意見をまとめて発表するのです。

発表では、豊かな思考力と斬新な発想力に驚くばかり。メリハリの利いた話術にも引きつけられました。

「中1のときから、先生の話や文章からキーワードを抜き出し、要点をまとめた後、発表できるように指導しています。今回のチーム学習でも、皆自主的に動いており、今まで学んできたことが生かされていました」(6年一貫コース担任・中司延亮先生)

今後は本格的なプレゼンテーション、論文作成へと広げ、「社会で活躍できる力」を身につけていきます。